

監護相当・生計費の負担についての確認書

(申立先) 時津町長 殿

私は、以下に記載する者（注）について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること（以下「監護相当・生計費の負担」という。）を下記のとおり申し立てます。

申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

注 18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のうち、施設等に入所等している者でないもの（詳細は裏面を参照）

大学生年代の子を記入

記 住民票上の住所を記入

1	ふりがな 氏名 とぎつ こすもす 時津 秋桜		生年月日 平成 14 年 4 月 2 日 令和				住所 〇〇県〇〇市〇〇区〇丁目〇〇番〇号 ××アパート△△号室																									
	個人番号		続柄	職業等（いずれかに○）※			通学先（学生の場合のみ）			卒業予定時期 （学生の場合のみ）			申立人による監護相当の状況（いずれかに○）			申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）																
	9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		長女	学生 ・ 無職 ・ その他			〇〇大学			令和 7 年 3 月			1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）			1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）																
2	マイナンバー		「その他」は大学生年代の子が就職して収入があるが、児童手当の請求者（受給者）が生計費の負担がある場合に限ります。										現時点での卒業予定時期を記入。 卒業予定時期が22歳に到達した最初の3月以降でも、多子加算のカウント対象となるのは、22歳に到達した最初の3月までです。										住所									
	個人番号		学生 ・ 無職 ・ その他			令和 年 月			1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をし 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）			2.この2つの状況に、それぞれ当てはまる場合のみ、この確認書の提出ができます。			3.その他（ ）																	
	ふりがな 氏名		生年月日 平成 令和 年 月 日				住所																									
3	個人番号		続柄	職業等（いずれかに○）※			通学先（学生の場合のみ）			卒業予定時期 （学生の場合のみ）			申立人による監護相当の状況（いずれかに○）			申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）																
				学生 ・ 無職 ・ その他						令和 年 月			1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）			1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）																
	ふりがな 氏名		生年月日 平成 令和 年 月 日				住所																									

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和6年9月×日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)

住所 時津町△△△郷××番地×

請求者（受給者）

氏名 時津 太郎